

令和3年度(2021年度)一般選抜入学試験における主体性等の評価について(予告)

令和元年7月17日

東 北 大 学

「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」(平成29年7月13日公表, 以下「予告」とする)において, 「一般選抜の課題の改善」として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するために, 調査書等の積極的な活用を促し, どのように活用するのかを募集要項等に明記することが指示されました。

東北大学では, 予告の公表を受けて検討した結果, 「平成33年度入試における本学の基本方針について(予告)」(平成30年12月5日公表, 以下, 「東北大学の基本方針」とする)において, 「調査書等の扱い(一般選抜)」に関する予告を行いました。具体的には,

- ① 志願票に調査書と対応した5項目程度のチェックリスト項目を設ける
- ② 合否ラインに並んだ場合, チェックリストによる主体性評価が高い志願者を優先的に合格とする
- ③ チェックリストの根拠を調査書により確認し, その他の資料は求めない
- ④ チェックリスト及びその評価方法等の詳細は改めて公表する

との方針を示しました。

このほど, 「東北大学の基本方針」で言及していた「チェックリスト及びその評価方法等の詳細」について以下のように決めましたので, 公表いたします。

1. チェックリスト

○ 志願票に以下の5項目のチェックリストを付し, 志願者の自己申告とします。志願者は以下の各記述に関する自らの取組状況を振り返り, 「該当する」と考えた場合には末尾の [□] にチェック [☑] を入れてください。

- | | |
|------------------------------|---|
| (A) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (B) 部活動・ボランティア活動に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (C) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (D) その他の活動に主体的に取り組んできた | ☑ |
| (E) 高校時代に取得した資格, 獲得した賞がある | ☑ |

(補足説明)

- ・ 自己申告はチェックのみとし, 自由記述欄は設けません。

2. 合否判定

○ チェックリストは合否ラインに同点で並んだ志願者の合否判定を行う際に利用します。

3. 主体性評価チェックリストと調査書記載欄との対応関係

- (A) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた：
「7. 指導上参考となる諸事項」(1) 学習における特徴等, (2) 行動の特徴、特技
- (B) 部活動・ボランティア活動に主体的に取り組んできた：
「7. 指導上参考となる諸事項」(3) 部活動、ボランティア活動等
- (C) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた： 「6. 特別活動の記録」
- (D) その他の活動に主体的に取り組んできた：
「7. 指導上参考となる諸事項」(6) その他
(「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」「8. 備考」も根拠とする場合がある)
- (E) 高校時代に取得した資格, 獲得した賞がある
「7. 指導上参考となる諸事項」(4) 取得資格、検定等, (5) 表彰・顕彰等の記録

(補足説明)

- ・ 調査書のいずれかの欄に一つでも該当する記述があれば, 自己申告(チェック)の根拠として利用します。
- ・ 調査書の記載内容や記述の多寡は合否判定に影響しません。
- ・ 調査書の記入漏れは, 可能な限り本人の不利にならないように評価します。
- ・ 本人の自己申告(チェック)がなくとも調査書に根拠となる記載がある場合には, 可能な限り本人の不利にならないように評価します。
- ・ 調査書が発行されない志願者の場合, 調査書の記載漏れと同等に扱います。